

平成27年度 第3回昭和町総合教育会議 議事録

- 1 日 時 平成28年2月24日(水)
開会 午後1時30分 閉会 午後2時30分
- 2 会 場 昭和町中央公民館 第2会議室
- 3 出席者 町長 角野 幹男
副町長 志村 武夫
教育長 佐野 勝彦
教育委員長 太田 學
教育委員 山田 由美
教育委員 磯部 幸廣
教育委員 清水 正夫

(事務局関係)

総務課長	内藤 芳男
総務課総務係長	三井 浩樹
教育指導監	柴 茂生
教育委員会学校教育課長	保坂 正造
教育委員会生涯学習課長	篠原 正浩
教育委員会学校教育課学校教育係長	今村 秀紀

- 4 協議事項 (1) 平成27年度事業報告について
(2) 意見交換
昭和町教育の課題と今後の方向性について
(3) その他

別紙（議事詳細）

1 はじめの言葉（内藤総務課長）

2 町長あいさつ（角野町長）

※あいさつ内容は省略

3 議事

（1）平成27年度事業報告について

柴教育指導監より、①「コミュニティ・スクールに関すること」、②「英語教育に関すること」、③「学力向上フォローアップ事業に関すること」について説明を行った。

篠原生涯学習課長より、④「青少年海外派遣事業に関すること」、⑤「文化協会に関すること」、⑥「体育協会及びスポーツ教室に関すること」について説明を行った。

（2）意見交換

（内藤総務課長）

先ほど町長のあいさつの中でもありました新教育長制度への移行について、また、今年度の事業報告について何か質問や要望がありましたらお願いします。

（清水委員）

町長の教育に対する思い、取り組みをお聞きした中で、やはり新教育長制度については、県内でも過半数の市町村が新制度に移行していることから、ぜひ昭和町でも移行してほしい。

（山田委員）

学力向上フォローアップ事業について、夏休みに小学生の子どもを一人で残して仕事に行っているお母さんが多いのでとてもありがたいという話を聞いている。

中学生については、募集があった時に部活動の予定がまだ決まっていなかったので申し込みができなかったのが、新年度は段取り良く募集を行ってほしい。

(芝教育指導監)

今後は、中学生の部活動も考慮する中で計画を実施していきたい。

(太田委員)

昭和町にとって望ましい教育について、新教育長制度に移行しても今まで同じだったら意味がない。

教育委員というのは一心同体で地域の教育行政を背負っていくっていうことですが、皆さん他の仕事をしながらの兼務ですので事務局の方に委ねるといことも仕方ないと事だと思いますが、町長から任命され、議会の承認を得ていますが、今まで人事に関することも何も分からないし、また昭和町教育の思いをほとんど語る事がなかった。そういう中で、昭和教育をそれぞれの学校でコミュニティ・スクールという形でやっていますけれども、昭和町は小さな町なので「押原教育」というものを残していけると思います。新教育長制度に移行するということを契機に先ほど期待感が高いということがありましたけど、委員もこのままの委員で役職が変更になるということなので、本当にこの制度が実を結んで、私たち教育委員の自分の思いを語り、これまでの成果をより花を咲かせるように望みつつ、新しい制度になっても委員は変わらないので、名称が変わっただけにならないように昭和町教育を推進してもらいたい。

(佐野教育長)

今、太田委員さんが感じていることは、私も感じている。

新教育長制度のポイントは4つあります。

新教育長の設置、会議の透明化、総合教育会議の設置、教育大綱の策定であります。

2つ目の会議の透明化については、教育委員会の中で行ったことについて、きちんと町民や町に伝えるといったことの透明化を図る。一例をあげますと教育委員会に対する評価があります。これまでは曖昧だった部分もあったと思います。教育委員会は何をやっているのかという評価をきちんと行って公表するという事を行っていかねばならないと思っています。会議の内容は公表されるものであって、町民の皆さんに見てもらいたいと思うし、姿勢を変えていかねばならないと思っています。透明化といった部分を委員さんはおっしゃったと思うので私たちも透明化ということを中心に入れておいていろいろな事を行っていけばいいのかと思いますので、たいへんありがたい意見をいただいたと思います。

もう一つ人事に関する事については、まだ2月ですので、私も分かつ

ていませので、委員の皆さんに話ができることについては順次報告していきたいと思っています。

(磯部委員)

教育長が言われた透明化ということに対して、総合教育会議というのは教育委員会と同じように傍聴できるものなので、事前に会議の開催についてアナウンスしないとしないことになっているので、ホームページに掲載をお願いしたい。

事業報告を聞いたが、個別に事業を報告するのではなくて、教育大綱に対して、行った事業がどうだったのかという位置づけをして報告していたらよければより一層よかった。

気が付いたところを言うと、小学生の英語教育について、中学生になってからの英語に対しての興味など継続してアンケートをとって、英語教育の有効性を確認していただきたい。

青少年海外派遣事業について、感想文を読むと英語に興味のある子どもたちが行っていると思うが、せっかく海外に行くのだから、海外で頑張っている日本人いるので、そういった人を目標にしたいと思えるところに行くのもいいと思う。職員が毎年派遣されているので、自分の職場と比べてオーストラリアの職場や生活はどうだったかなど、職員としての見方で研修する日を設けて、職員もレベルアップしてほしいと思いました。

(山田委員)

人事のことについても話ができる時になったら教えて欲しいと思っています。皆さんの話の中で会議の透明化ということができましたけど、身を引き締めて頑張っていきたいと感じました。

(志村副町長)

総合教育会議の在り方について、教育委員さんの仕事が行政に直結できるようにしていきたい。総合教育会議では町長も出席しているので、日頃から昭和町の教育について議論をしている教育委員の皆さんに意見などを直接言っていただくいい機会だと思っている。

英語教育を行って、小学生の90%が興味を持っているということなので、英語教育を昭和町の特徴ある教育として発掘していくことができればいいと感じました。

(芝教育指導監)

昭和町教育大綱の基本方針の中の一つに英語教育の充実がありまして、それを基にして、この授業をスタートしていったというところですか。また学力向上についても本町の大綱の重要な一つでありますので、取り組みとして成果が上がっているということについては大綱の具現化・実現化について一歩二歩前進していると感じています。

(佐野教育長)

磯部委員からお話のありました教育大綱に対して事業がどうだったのかという位置づけをして報告という話がありましたが、学校ごとに教育大綱の中身はどうだったかを評価してもらいたいということ伝えてあります。各学校では学校評価を行っています。その学校評価の中に教育大綱の中身も含めてもらい3月中旬くらいまでに報告してもらおう予定です。評価内容等については集計等もありますので、次回の会議で報告できたらと思っています。

(太田委員)

総合教育会議というのは、透明性を注意しなければならないくらい濃い話しはあまりないので、透明性は確保できていると思う。

その他に私も海外派遣に何度か行っているが、もったいない制度だと思う。海外派遣に参加した子ども達がもう一度集まって町民の皆さんに成果の発表会を行ったらどうか。募集しても行きたがらない。先生たちも行きたがらない。私が校長の時も先生方が行かないので私が行った。お金の問題もあるし、引率ということもあると思います。でも海外派遣でオーストラリアに行くと現地の人たちはものすごく歓迎してくれて、フレンドリーにしてくれる。帰国の時は涙を流してくれるが、帰ってくれば忘れてしまう。業者任せにせず、外国の人を招き入れてもいいと思います。こちらからは行くが、迎え入れることはない。お互いの負担が余りかからないように交流をすることが可能であれば、小中学校で学ぶ英語と連動して社会英語みたいな形になるかと思っています。昭和町でも受け入れてくれる家庭もあると思います。少し負担も増えると思いますが、そうなった時に初めて他の町とは違う昭和町の独自の国際教育・異文化交流になると思います。

(内藤総務課長)

英語教育や町の発展につながっていくと思うので、すぐに行くことは難しいと思いますが検討していきたいと思っています。

(山田委員)

高校生の娘が平成27年度の海外派遣事業に参加しました。お国柄なのかホストファミリーが直前に変更になった人もいたらしい。日本に帰って来てからホストファミリーとメールでやり取りをしている。私も以前、外国の子どもをホストファミリーとして受け入れたことがあり、最初は子どもたちも戸惑いがあったと思いますがいい経験でした。甲府市の募集で受け入れたのですが、昭和町でもあると英語教育ということで英会話教室に行っていたりして熱心なご家庭もあると思うのでとてもいいことだと思います。

(内藤総務課長)

英語教育ということで、外国の人と触れ合うことも大切なことだと思います。

(太田委員)

町は単独採用教員が多く、いろいろな対応ができる。一昨年から町単教員を集めて研修を行うなどの対応を取ってもらっている。町単教員は学校固有の慣習的な活用方法が強いと思う。校長先生より長くいる町単教員もいますから最大活用してほしい。県単教員の手の届かないところを町単教員がフォローするというのを校長先生に話をしてもいいと思う。現状維持、従前踏襲ではなく、昭和町の独自の教育のために最大有効活用していくことも必要だと思います。

(内藤総務課長)

本日は様々な貴重な意見ありがとうございました。

町長の話にもありましたが、4月から新教育長制度へ移行していくということになりますのでよろしくお願いします。

教育委員の皆様から頂きましたご意見等も参考にし、来年度からの教育行政の中で生かしていきたいと思います。

(3) その他

(山田委員)

町立図書館で勉強するスペースがあるが、テスト期間だけかもしれないがいっぱい座って本を読めない。

(志村副町長)

町立図書館の建設当時は勉強をするスペースを広くつくるというのはなくコンパクトに資料を置くという時代だった。今は蔵書数も増えて棚に横置きになっているということもあり、中央公民館と併せて生涯学習館の中に図書館を併設する計画をしているところですが、財源が厳しいのですぐにできるかと言うと厳しいところがあります。

(山田委員)

昭和町も学生自体が増えてきて、私も見に行ったら高校生も多くテスト期間だけかもしれないですが、平日いくと空いていました。

(内藤総務課長)

先ほど副町長の話にもありましたが、町でもできるだけ早い時期に建設できるよう努力しています。

4 終わりの言葉 (内藤総務課長)